

水と親しみ 心豊かに暮らせるまちへ

三番瀬に面し、海に接する行徳臨海地区では、市民の皆さんが水と親しみ、心豊かに暮らせるまちになるよう、「塩浜地区護岸整備事業」「地域コミュニティゾーン整備事業」「塩浜地区整備事業」の3つの事業を進めています。このうち、先行して整備の進む2つの事業を紹介します。塩浜2丁目地区では、市民が安

全に海と親しめる護岸として、皆さんにご利用いただけるよう、平成25年度に一部完成を目指し工事を進めています。また、本行徳・下妙典地区は、野球場や防災機能を持つ公園などを備えた「地域コミュニティゾーン」として計画されています。

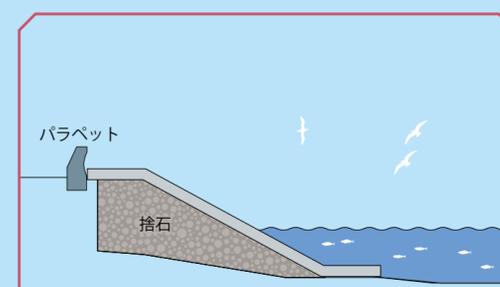
☎359-1150臨海整備課

塩浜地区護岸整備事業

塩浜護岸は、昭和40年代に市川二期埋立計画のため整備されていましたが、計画の中止を受け暫定的に工事された状態が続いていました。塩害による鋼矢板の腐食や老朽化が進み、護岸敷の陥没などが

発生。倒壊の危険性が指摘されたため、千葉県が主体で、安全で市民が海に親しめる護岸となるよう整備事業が現在進められています。

海辺にふれる

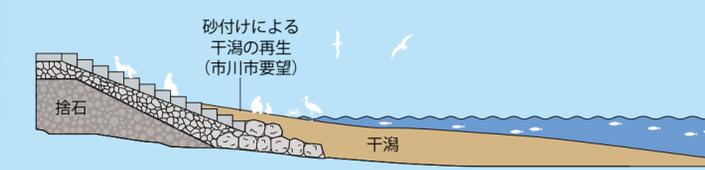


塩浜1丁目護岸

今年度から工事に着手し、腐食した直立護岸の安全性が確保できるよう、約300mに渡り捨石を積み上げました。今後は、残り区間の捨石や全体の仕上げ、展望スペースの整備を行い、平成25年度の完成を目指します。



塩浜2丁目護岸



市民が親しめる海辺となるよう、なだらかな護岸の整備を進めています。なお、一部区間(50m及び100m)では、階段状の護岸を設ける予定です。(1面写真)

浦安市から海越しに塩浜2丁目を望む

干潟の再生

塩浜2丁目護岸の前面には、三番瀬の再生と身近な海とのふれあいを目指し、砂付けによる干潟の再生を県に要望しています。

これまでの主な要望経緯
平成21年5月28日、平成22年7月9日、平成23年11月29日「三番瀬再生に関する要望」



地域コミュニティゾーン整備事業



敷地面積約3.3haの「地域コミュニティゾーン」では、都市公園、運動施設、障害者施設などの整備を計画しています。今年度は、敷地を分断している水路の埋め戻し工事を行い、より有効に敷地が使用できるよう整備するとともに、運動施設用地に少年野球場を新設する工事を行っています。

その他の施設
知的身体精神の3障害を対象とした、障害福祉サービスを提供する通所施設などを整備する予定です。

都市公園
遊歩道やサイクリングロードを通じて、江戸川から近郊緑地へ周遊できる「人と水と緑のネットワーク」の拠点となる都市公園。また、防災機能も備えた、市民が安心して憩える場となる予定です。

運動施設(少年野球場)
グラウンド1面とバックネット、防球ネット、外野フェンスなどの工事を行っています。将来的には、本部席・観客席を整備し、主要な大会を行える施設になる予定です。